

みどりと公園

2023
秋
Vol.21



公益財団法人 さいたま市公園緑地協会

写真は、夏の全国高等学校野球選手権埼玉大会、女子野球・少年野球などが行われる「レジデンシャルスタジアム大宮」（さいたま市大和田公園野球場）入口ロータリー内に造成したリサイクル花壇※です。

SDGsの取り組みのひとつとして、この夏、埼玉県立大宮南高等学校野球部の皆さんと協働で整備したもので、公園を訪れる方々の目を楽しませてくれています。

※リサイクル花壇…『再生客土（水道水をつくる際に発生する浄水発生土と黒土を混合した土）』及び『リサイクル堆肥（さいたま市内の公園で発生した剪定枝から作った堆肥）』を使用したハイブリッド花壇。NPO法人 埼玉県建設発生土リサイクル協会と協力しながら、リサイクル・ゴミ削減を目指したSDGsに貢献するものです。



公益財団法人 さいたま市公園緑地協会 大和田公園
さいたま市大宮区寿能町2-519

【お問合せ先】

TEL ■ 048-642-0478 FAX ■ 048-649-5222



災害時に活躍する公園特集

公園は、子どもの遊び場や市民のレクリエーションの場、運動による健康維持・増進の場としてだけでなく、都市景観の構成要素として重要な役割を果たしています。同時に、地震災害時における延焼防止あるいは避難スペースとして防災上重要な役割を担っています。

避難場所について

広域避難場所



大地震等により発生した火災が延焼拡大した場合、その輻射熱や煙から生命・身体を守るために避難する場所です。原則として面積10ヘクタール以上の公園や公共空地が指定されています。

避難場所の確認方法

本紙のマップには、当協会が管理している、避難場所として指定された公園の一部を掲載しています。「さいたま市防災アプリ」では、避難場所の情報をはじめ、様々な防災情報が1つにまとまっています。下記の二次元コードでアプリをダウンロードしてください。



iOS版
(App Store)



Android版
(Google Play)

応急給水について

災害用貯水タンク



タンクは水道管とつながっていて、通常は中の水が循環しています。災害時にタンクの出入口が遮断され飲料水が確保されます。

非常災害用井戸



自家発電設備により井戸から水をくみ上げ、飲料水を供給できる施設です。

災害トイレについて

マンホール



既設の下水管を活用する仮設トイレです。また、貯水槽に水を溜めておくことで、断水が起こったときに水洗用水として利用することができます。マンホールの上に便座と TENT を設置して利用します。

スツール



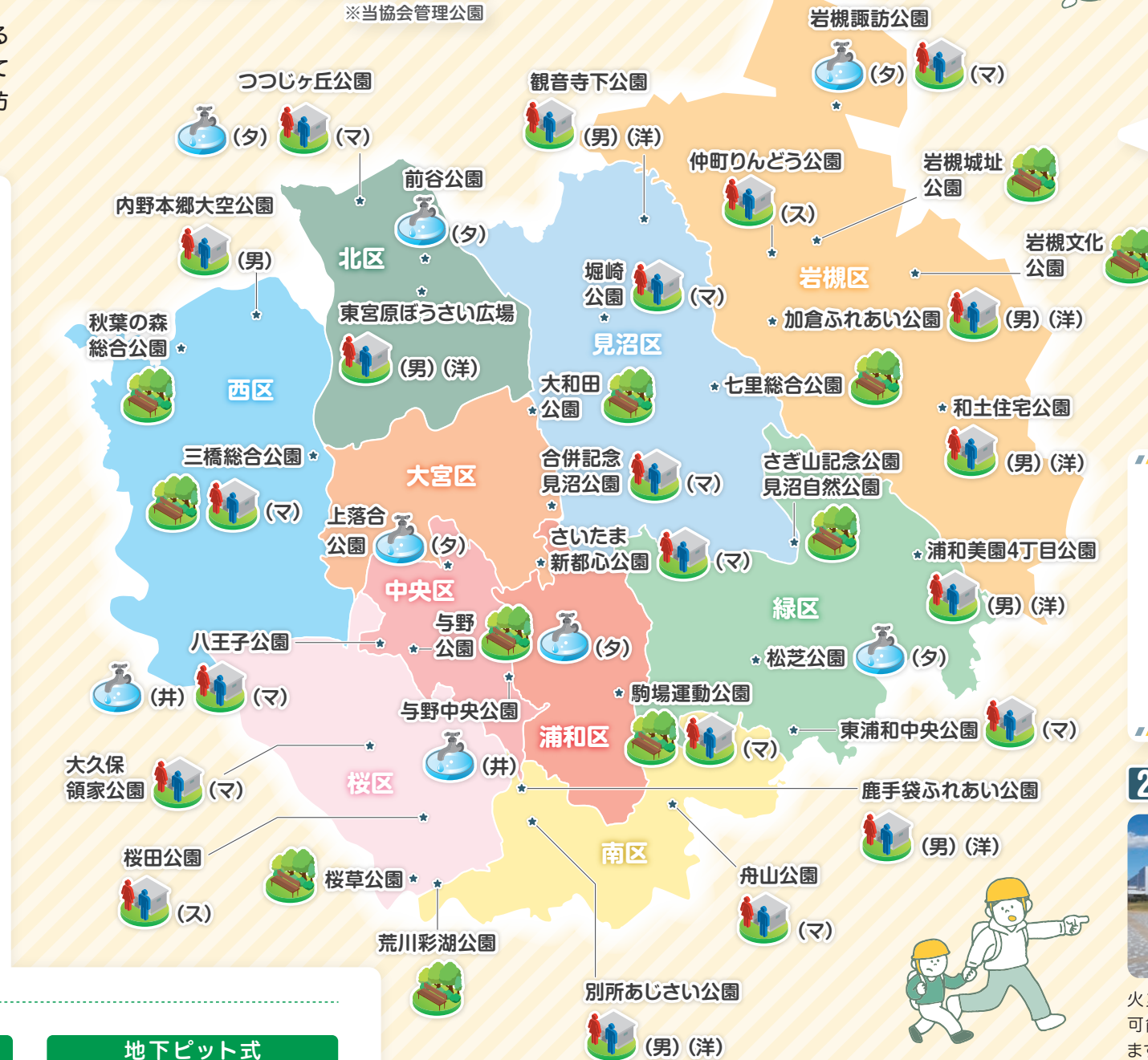
平常時はスツールとして利用でき、災害時は座面を取り外すことでトイレとして利用することが可能です。TENT・便座・排泄物を入れる袋などが収納されています。

地下ピット式



断水時でも汲み取り式トイレとして利用できます。汚物はタンクに溜めこみ、バキュームカーで汲み取って処理します。

※当協会管理公園



地図凡例



広域避難場所



応急給水

災害用貯水タンク (タ)
非常災害用井戸 (井)



災害トイレ

マンホール (マ)
スツール (ス)
地下ピット式男子小便器 (男)
地下ピット式洋式 (洋)

防災設備

紹介

1 防災パーゴラ



仮設TENTとして利用できます。支援拠点や救護室など様々な用途で活用されます。

2 広場



火災・地震・洪水などから緊急避難が可能です。また災害支援の拠点となります。

3 かまどベンチ



座面を取り外すことで「かまど」として利用できます。避難者への炊き出しをする際に使用します。

4 防火植栽帯



火災の発生時には、常緑樹が延焼の拡大を阻止し、延焼速度を遅くします。

5 ソーラー照明



停電した場合でも、ソーラー発電により公園灯を照灯することができます。

6 災害自販機



災害時は、無料で飲料を提供します。非常電源を搭載しているため停電時でも利用可能です。

～公園緑地協会からのご案内～



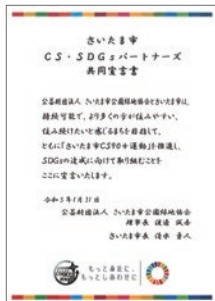
とびっくす

「さいたま市CS・SDGsパートナーズ」として更なる事業の拡大に取り組みます!!

さいたま市CS・SDGsパートナーズ共同宣言

当協会は、「さいたま市CS・SDGsパートナーズ」共同宣言を行いました。

さいたま市を住みやすいと思う市民の割合＝市民満足度(CS)を90%以上とする「さいたま市CS90+運動」の推進と持続可能な社会に向けたSDGs目標の達成に取り組み、さいたま市とともに、多くの方が住みやすい・住み続けたいと感じるまちの実現を目指します。



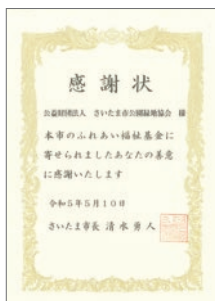
さいたま市SDGs推進自動販売機の活用

前号(みどり公園 Vol.20)でご紹介した、当協会が令和4年度に設置した「さいたま市SDGs推進自動販売機」の売上金の一部を「さいたま市ふれあい福祉基金※」に寄付をしたことについて、感謝状をいただきました。

当協会は、今後も地域社会の健全な発展に寄与してまいります。

※ふれあい福祉基金

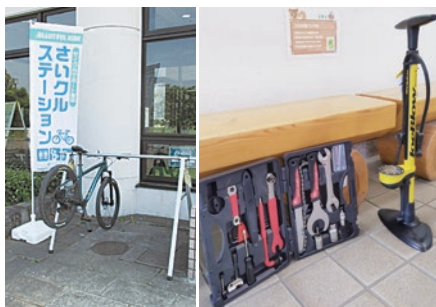
ボランティア団体、NPO法人、その他の民間福祉団体等が行う地域福祉活動や、心身障がい者地域ケア施設等の修繕に対して、費用の一部を補助する基金



「さいくろステーション」に認定されました!

さいたま市が自転車利用の促進及び市の魅力と活力向上に資するため取り組んでいるサイクルサポート施設「さいくろステーション」に、岩槻文化公園・岩槻城址公園・別所沼公園が認定され、CS推進を図っています。

管理事務所前に「自転車ラック」を設置し、「自転車工具」や「空気入れ」の無料貸し出しを行っていますので、ロードバイクの方はもちろんのこと、普段、自転車をご使用の方もお気軽にお立ち寄りください。



カーボンオフセット自販機・キャッシュレス無人売店設置

SDGsの目標のひとつである「脱炭素社会の実現(カーボンニュートラル)」への取り組みのため、岩槻文化公園の体育館受付前に「カーボンオフセット自販機」を設置しました。

この自動販売機は、稼働時の年間消費電力量に相当するFIT非化石証書※を取得することにより、再生可能エネルギー由来の電力を使用したとみなされ、CO₂排出量の相殺(カーボンオフセット)が可能となります。当協会の収益事業である自販機の設置を通じ、再生エネルギー使用の拡大及びCO₂排出量の削減(実質ゼロ)を図り、持続可能な社会への貢献を目指します。

また、市民満足度(CS)の推進及び向上を図ることを目的に、新たな取り組みとして、自販機に併設して、「キャッシュレス無人売店」を導入しました。

商品ラインナップはお菓子がメインとなり、購入方法はお手持ちのスマホで二次元コードを読み込むことにより簡単に決済ができます。

※FIT非化石証書

太陽光・風力・小水力・地熱・バイオマスなどの再生可能エネルギーを電源としたFIT電源で発電されている電気に対して発行される証書



キャッシュレス無人売店 (左)
カーボンオフセット自販機(右)



さいたま農業協同組合(JAさいたま)との連携

当協会とさいたま農業協同組合(JAさいたま)様は、包括連携協定を締結し、規格外野菜等の販売できない食品を大崎公園子供動物園の動物への飼料としてご提供いただいています。これはSDGsの目標のひとつである、食品ロスの削減を図る取り組みとして行っています。

また、JAさいたま様の「ぐるめ米ランド」4か所(木崎・三室・尾間木・大宮)に、当協会の特定寄附金「緑の基金」の募金箱を設置していただき、さいたま市における緑化の普及・啓発活動推進へのご協力もいただいています。



規格外野菜の贈呈式(於:大崎公園子供動物園)



「緑の基金」募金箱設置(木崎ぐるめ米ランド)



寄附金募集のご案内

当協会では公益目的事業の拡充を図るため、目的別に定めた3種類の特定寄附金を募集しております。多くのみなさまからのご支援、ご協力をお待ちしています。

また、令和4年度寄附金実績について、以下のとおりご報告いたします。

ご協力ありがとうございました。

緑の基金
396,505円

公園文化創造寄金
1,639,017円

桜回廊寄附金
73,429円

◎特定公益増進法人である当法人への寄附金は、税法上の優遇措置の対象となります。

令和5年9月発行

公益財団法人
さいたま市公園緑地協会

〒336-0021
さいたま市南区別所4-12-10
TEL:048-836-5678
FAX:048-836-5200

協会ホームページ <https://www.sgp.or.jp>

さいたま公園ナビ



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

